

NPO 法人小網代野外活動調整会議は こんな活動をしています。

【保全推進事業】

- ・ 湿原回復作業・作業ルートの整備
- ・ 有害外来種除去を含む生物多様性回復作業
- ・ アカテガニ・ピオトープの整備
- ・ 小網代湾岸海浜植生の回復・維持

【学習・ボランティア活動への支援事業】

【トラスト緑地保全支援事業】

- ・ 干潟を含む生物調査・流路整備等

当法人に資金協力してくださる方へ

- ・ 法人への直接のご寄付
郵便振替口座番号：00240-1-95307
- ・ かながわトラストの
「トラスト緑地保全支援会員」へのご登録
(問合せ先：045-412-2525 小網代支援とご明示ください)

小網代の森訪問を希望される方へ

- ★ 県による整備期間（～2014年春:予定）は、一般散策等での森の通過は県より自粛要請がでております。
- ★ 学習・ボランティア活動でのご訪問については第3日曜午前9:30三崎口駅集合のボランティアウォークへの参加をお勧めします。
- ★ 特別日程によるボランティア・学習訪問を希望される場合は当事務局にお問い合わせください。スタッフによるご案内も可能。（寄付またはスタッフ派遣費のご負担をお願いします。）
- ・ くわしくは Web サイトをご参照ください。

小網代の森の整備にご協力ください

2011年11月版



お問合せは

NPO 法人 小網代野外活動調整会議

〒223-0053

横浜市港北区綱島西 2-5-10 コーリン綱島 4F

TEL045-540-8320 FAX045-546-4344

URL=<http://www.koajiro.org/>

小網代の森を環境学習・ボランティア貢献の場として利用される皆様は、ご連絡・ご相談くださいますよう、お願いいたします。

保全確定・整備期間は通行自粛を

小網代の森は、神奈川県三浦市にある、約70ヘクタールの自然集水域（全域が首都圏近郊緑地保全区域）です。2010年2月、保全に必要な全ての土地を神奈川県が確保し、今後しばらくは、湿地の再生などの整備作業が進みます。その間は、通路安全の確保もむずかしく、マムシ、スズメバチ等の出現もありますので、神奈川県より、一般の通行は、自粛を要請されています。

整備期間中における谷の通行

整備期間中でも、学校等による学習訪問については、NPO 調整会議がご案内する、簡単なボランティア作業を伴う方式で、谷の訪問が可能です。ご相談ください。

整備期間中、市民団体あるいは個人で谷の訪問をご希望の場合は、7・8・9月を除く毎月第3日曜日、午前9:30三崎口駅前集合で、NPO 調整会議が主催する「学習・ボランティアウォーク」にご参加いただくことができます。12:00に現地解散、雨天中止です。

谷の通行にあたっては、湿原保護のため、ぬかるみは長靴を履き、川沿いのトレイルに沿って歩いていただきます。

7・8・9月の3ヶ月は、マムシ、スズメバチなどの危険も高いので、通路の安全整備をいたしません。森の通行は自粛していただきますようお願いいたします。

干潟で観察する

河口にはアシ原に囲まれた干潟がひろがっています。
この干潟はカニたちの楽園。たくさんの種類のカニがすみ分けをしています。



チゴガニのダンス

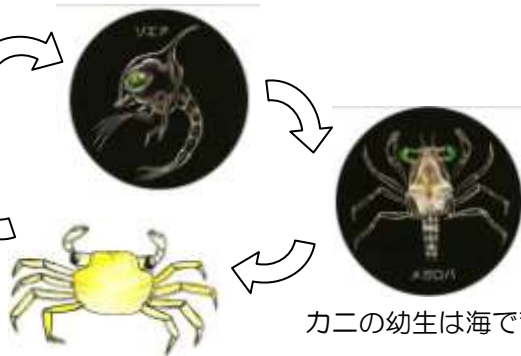
引き潮の時間を確認してから出かけましょう。
アシ原には入らないでください。
干潟を移動するときは濡スジを歩きましょう。
裸足で歩くと危険です。

参考：「小網代の谷のカニ図鑑」
NPO 法人流域自然研究会発行

アカテガニ



森全体に暮らす、小網代の自然の象徴です。



カニの幼生は海で育ちます。

小網代の森は一番高い尾根でも標高およそ80m、中央の谷を流れる浦の川は約1.2km。森に降った雨は谷に集まり、川となり、河口から海へと注ぎます。人工物で分断されることのない〈完結した自然の流域です〉。



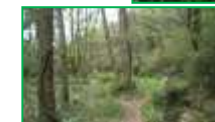
中央の谷を歩く

上流



イノデ

中流



ミズキ
ハンノキ

下流



ジャヤナギ
オギ、アシ

源流から河口まで季節ごとに違った楽しみが発見できます。
トレイルを広げないように、ぬかるみも長靴を履いて、楽しみましょう。
初夏から秋季はスズメバチやマムシが出現し、藪が深く、危険なため、通行をお控えください。